

ネットワークシステム部 導入事例

Network System Case Study

会議室・研修室（映像音響設備）

～使いやすく簡単な運用を実現～

Case No.002

株式会社村田製作所 みなとみらいイノベーションセンター 様

Problem

1.背景、構築の経緯、お困りごと

1

部屋の分割レイアウトに合わせて映像音響設備を運用したい

2

映像音響機器を簡単に操作したい

3

マイク使用時の情報漏えいを防止したい

導入先企業情報

株式会社村田製作所
みなとみらいイノベーションセンター

○所在地：神奈川県横浜市
西区みなとみらい

○設立：2020年12月

○事業概要：自動車、IoT、エネルギー、ヘルスケアなどの注力市場向け製品の研究開発、マーケティング機能を担っており、地の利を生かして外部パートナーとの協業、産学連携を通じてイノベーションを創出している。

○<https://corporate.murata.com/ja-jp/company/muratalocations/branch/minatomirai>

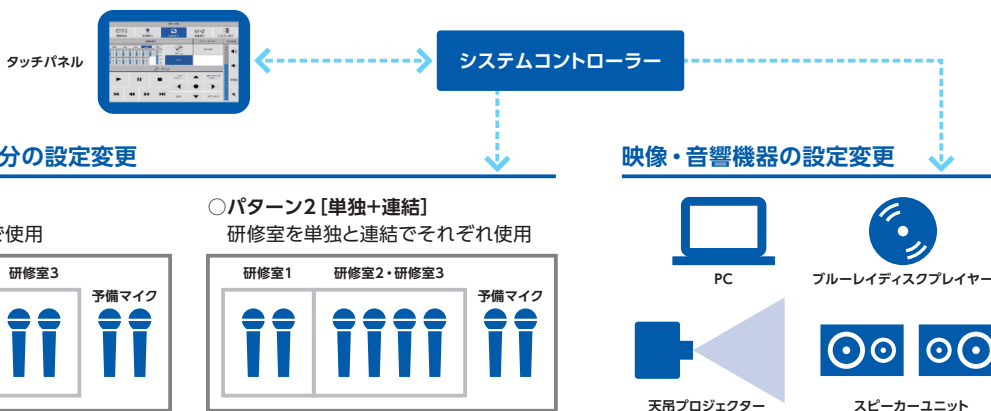


System

2.システム概要

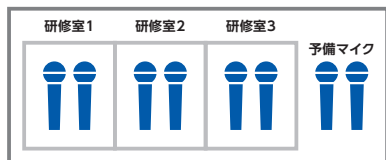
タッチパネル操作により部屋の分割レイアウトと連係したシステム制御が可能

■タッチパネル制御



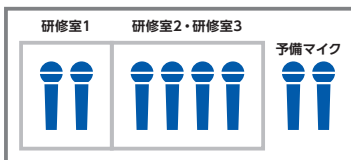
○パターン1 [分割]

研修室1/2/3を単独で使用

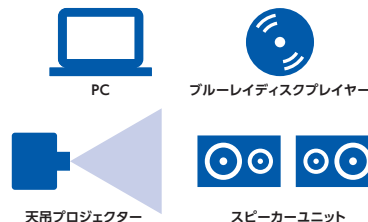


○パターン2 [単独+連結]

研修室を単独と連結でそれぞれ使用



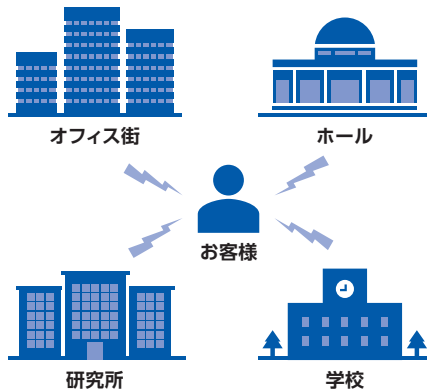
映像・音響機器の設定変更



Solution

3. 技術的な解決策

セキュリティ面で最適な赤外線マイク



○赤外線マイクは、通常の電波式ワイヤレスマイクと比べ混信が起きにくく、壁を透過しないため、外部から傍受される危険性が低く、情報漏えい対策などセキュリティ面でも最適なマイク設備です。

ユーザー
メリット

会議で取り扱われる機密事項が、隣接する他の施設に漏えいする心配がありません。

Effect

4. 導入の効果

1

分割レイアウトと連携したシステム制御



部屋の使い方に応じた映像音響設備の設定変更が簡単にできる

2

タッチパネルによる視覚的な操作



映像音響機器を分かり易い操作で集中制御できる

3

赤外線マイクの採用



混信が起きにくく情報漏えいも防止できる

Voice of Customer お客様の声

- タッチパネルで直感的に操作できるので、社員ヘクチャーすることなく運用できています。
- マイクの使用区分をワンタッチで操作できるので、会議の準備が非常にスムーズになり助かっています。
- 今後は、webとリアル両方の参加者が居る会議などをスマートに対応できるAV設備の導入を検討したいと思っています。

【お客様担当】



株式会社村田製作所
みなとみらい
イノベーションセンター
管理部環境安全課
三浦崇平氏

今後の取り組み・展開

- 機能性や操作性とコスト面においてバランスの取れた提案が出来る様目指して行きたい。